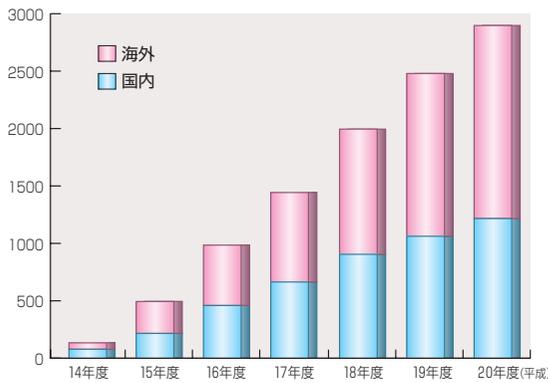


都市エリア産学官連携促進事業の成果

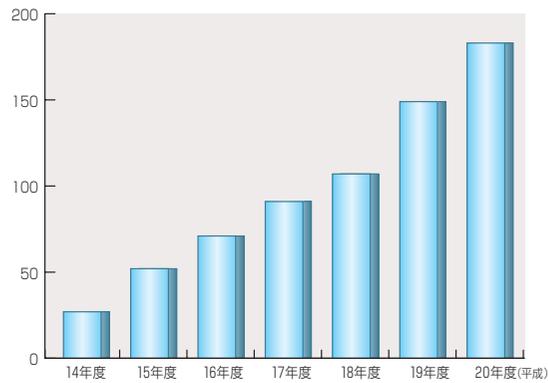
都市エリア産学官連携促進事業のこれまでの成果データ

都市エリア産学官連携促進事業では、地域の個性発揮を重視し、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成等を目指して産学官共同研究等を実施しており、これまでの取組により、以下のような成果が生み出されました。

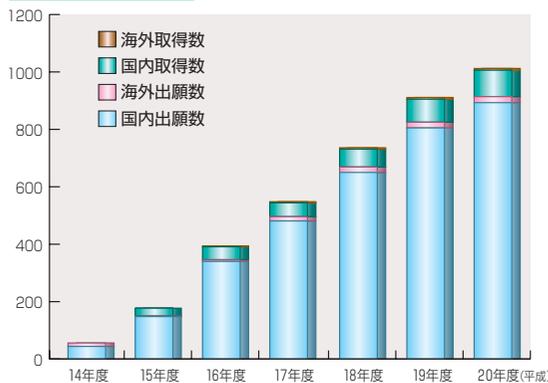
論文数（累積）



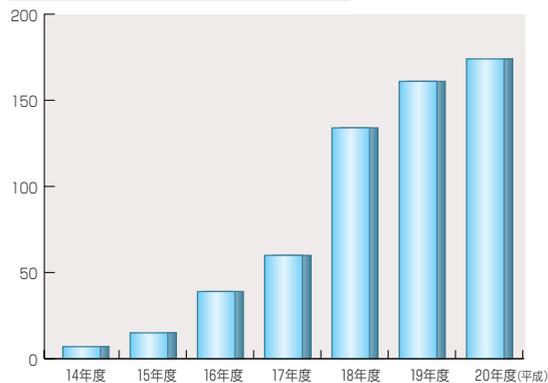
受賞件数（累積）



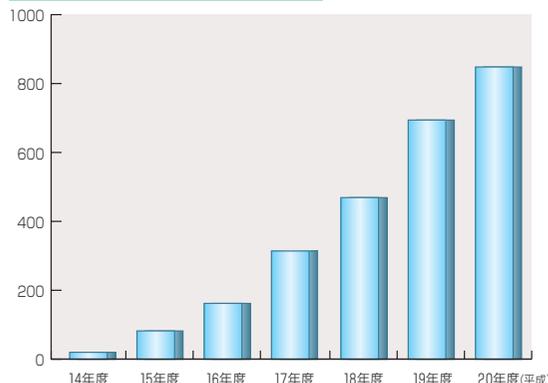
特許出願件数（累積）



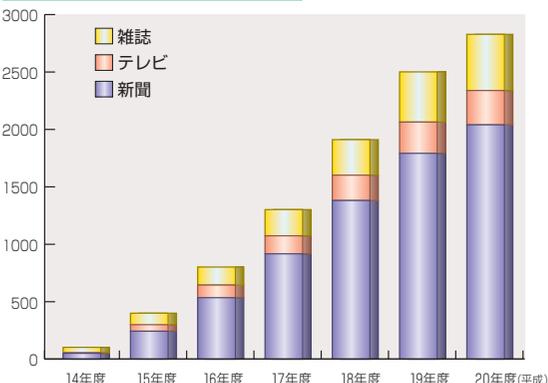
成果が他事業に採択された件数（累積）



商品化、実用化、企業化件数（累積）



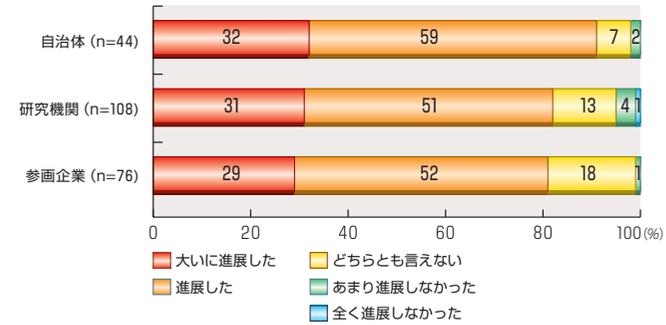
報道で取り上げられた件数（累積）



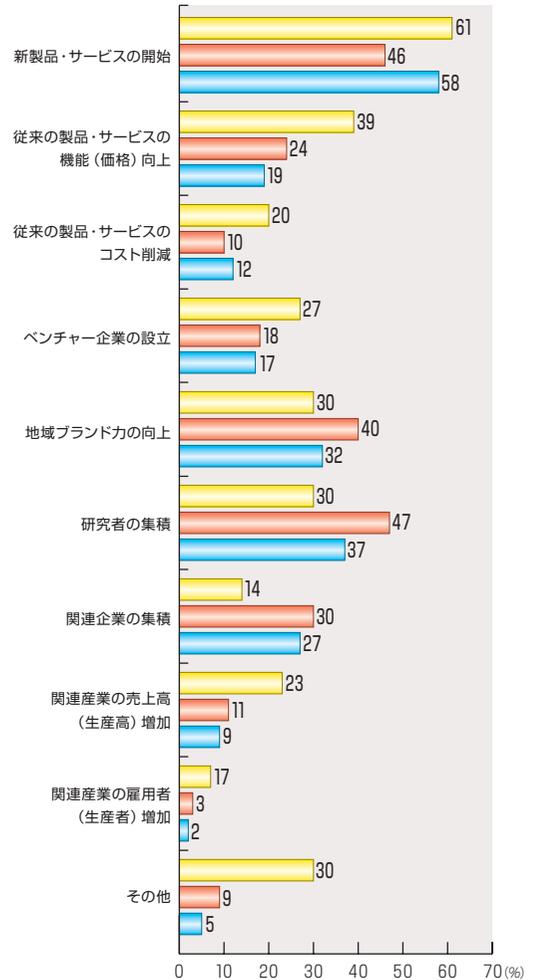
事業の成果に関するアンケート分析

都市エリア産学官連携促進事業を契機とし、多数の関係者を巻き込んだ産学官連携のネットワークが地域に根付きつつあり、地域への波及効果として、様々な新製品が生まれ、またサービスが開始されました。一方で、関連企業の売上高や雇用者の増加に至るまでには、長期的な取組が必要であり、事業終了後も多くの地域において様々な形で事業が継続されています。

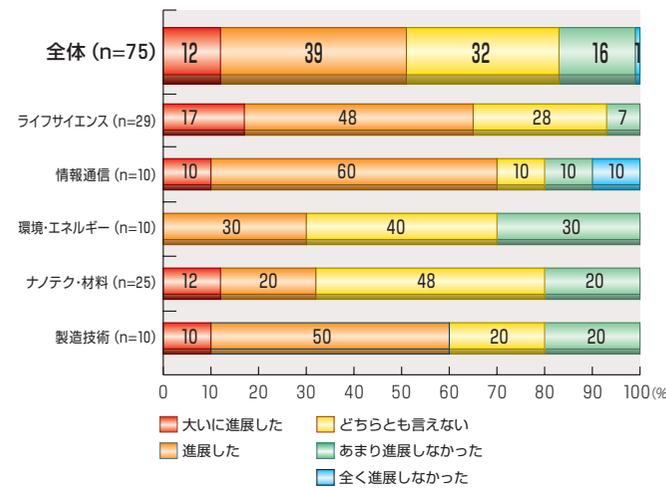
産学官ネットワーク構築について



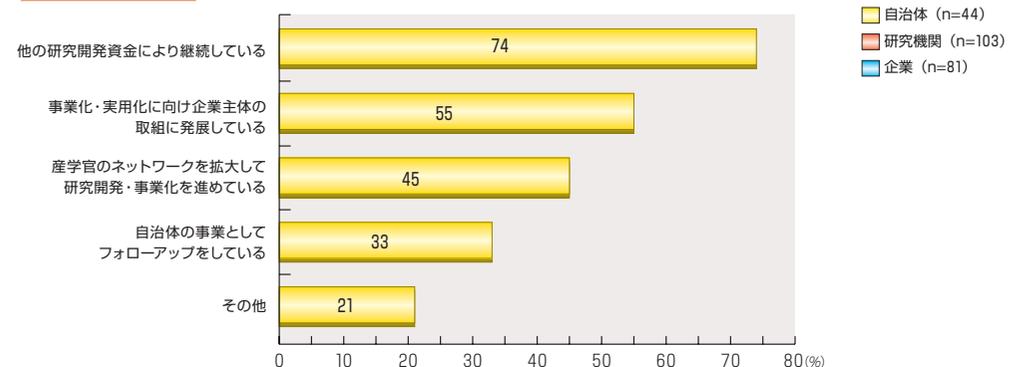
地域への波及効果



新製品・サービスの開発の進展状況（分業別）



事業終了後の取組



※アンケート調査対象者(nは回答者数):平成19年度までに都市エリア産学官連携促進事業を終了した50地域の関係者(自治体及び事業に参画した研究機関・企業)

資料:「都市エリア産学官連携促進事業の事業評価に関する調査」(文部科学省)